

高速増殖原型炉もんじゅの2次系ナトリウム漏えい事故について

平成8年2月6日
動力炉・核燃料開発事業団

1. 経緯

平成7年12月8日、「もんじゅ」の2次系(Cループ)において、ナトリウム漏えい事故が発生、原子炉を手動停止した。

1次系主冷却系Cループと漏えいが発生した2次主冷却系Cループのナトリウムをドレンした後、2次主冷却系の各室に飛散したナトリウム化合物の除去・清掃作業、原因究明のためのロストパーツ探索作業を実施している。

2. 最近の状況

当該配管室等の床・壁等の清掃を継続して実施している。

ロストパーツ探索作業は現在、第2段階の準備として足場の組立を行っている。

当該温度計漏えい周辺部の切断準備として、2月4日・5日に1次切削を実施し、5日にプラバックの設置準備を実施した。

また、2次系温度計部シール強化作業のため、本日2次系Bループのナトリウムドレンを実施する予定である。

3. 今後の予定

当該2次系配管漏えい部の温度計部を切断し、より詳細な調査を行う。また、ロストパーツの探索作業を継続して実施すると共に、2次系Bループ温度計部のシール強化作業を行う予定である。

以上